

宇宙普遍生物学セミナー

第8回 2023年6月22日(木)

16:00~17:30 理学部1号館207号室
及びオンライン

はやぶさ2探査が明かす太陽系内の
物質輸送と生命材料物質の供給過程

杉田 精司

(ビッグバンセンター、地球惑星科学専攻)

はやぶさ2は2018年6月にC型小惑星リュウグウに到着して以来、全球観測、局所高解像度観測、ローバーによる着陸観測、人工衝突実験し、リュウグウについての様々な知見を得た。並行して2箇所からのサンプル取得し、2020年12月にはサンプルを地球へ届けた。現在は世界中のラボがリュウグウ試料を分析している。本講演では、ミッションの概要、リモートセンシング観測の結果、サンプル分析の結果を解説する。特に、リュウグウと同種の小惑星が地球の水気圏および生命の起源にどのような影響を与えたかについて議論する。最後に、はやぶさ2探査の後に続く米のOSIRIS-REx探査とDART探査、欧日のHera探査とComet Interceptorについて簡単に紹介する。

